

「プレスネット」(vol.885)
平成 29 年 11 月 23 日掲載



コンサート会場で熱演が
終わった後、間髪を入れず
発せられる掛け声「ブラ
ヴォー」、「アンコール」は欠
かせない。いずれも元はフラ
ンス語であるが、すっかり日
本語のなかに溶け込んでい



原野 昇
(フランス語)

日本語のなかのフランス語

その地で独自の発展をすることは

る。

ほかに、日本語になった
フランス語起源の語として、
アベック、パラル、アンツ
カー、アンサンブル(婦人服
と音楽で)、アトリエ、マル
シエ、マリアージュ(料理とワ
インの)、元は「結婚」という

ン(共同住宅)の管理人で門
番のような仕事である。最
近では住宅の近代化、オー
トロック化で、ほとんど見ら
れなくなったが、代わりに高
級ホテルなどで、宿泊客のさ
まざまな相談や要望に応え
る「よろず承り係」を指すの

り2階の保育課)、子育てに
関するよろず相談に対応さ
れていることはまだあまり
知られていないのではなからう
か。
ソムリエ:西条と言えば
酒都(日本酒)、フランスと言
えばワイン。そのワインのこ

ムリエ、野菜ソムリエなど
様々な分野でソムリエとい
うことが使われている。食料
品だけでなく、ジーンズ、ソ
ムリエまである。ことばはい
たん借用されると、その地で
独自の発展をしていく。


意味)などもある。

最近耳にするようになって
たフランス語由来のことば
で、かつ元の意味を超えて日
本語で幅広く使われるよう
になっている語もある。

コンシエルジュ:フランス
語の元の意味は、アパルトマ

に用いられ、日本ではさらに
発展させ、学生の種々の相談
を何でも受け付ける係とし
て「コンシエルジュ」を置いて
いる大学もある。東広島市
役所に最近「保育コンシエル
ジュ」という係が新たに配置
されて(2017年10月よ

となら何でも知っていて、レ
ストランでお客の好みに合
わせてワイン選びの手助け
をする専門家がソムリエで
ある。しかし日本では、プロ
フェッショナル「資格認定」に
重点をおいて、ビールソムリ
エ、チーズソムリエ、みそソ

 広島大学マスタースは、広島
大学を退職した教職員で組織し
ています。市民を対象にした講
座も行っています。
【問い合わせ】
kazuwp@hiroshima-u.ac.jp(渡部)